

1ch オールインワンストリーミングエンコーダー SC6C0N1 AIO



- 取扱説明書 -

ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点等がございましたら、MEDIAEDGE株式会社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MEDIAEDGE株式会社カスタマーサポート
月曜～金曜: 10:00～12:00、13:00～17:00

TEL: 078-265-1552 FAX: 078-265-1550
※土日祝日 および 当社指定休日をのぞく

安全にお使いいただくために

本製品を正しくお使いいただくために
次のような表示をしています。



取り扱いを誤ると、死亡または重傷を招く
おそれのある内容を示しています。



取り扱いを誤ると、けがや周囲の物品を
損傷するおそれのある内容を示しています。



注意 は注意を促す事項を示しています



禁止 はしてはいけない行為を示しています。



強制 はしなければならない行為を示しています。

表記について

- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 説明の便宜上、実際の製品とイラストおよび画面写真が異なる場合があります。

ご注意

1. 本書の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
2. 本書の内容や仕様は将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。
4. 運用した結果については、3項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
5. ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
6. 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
7. MEDIAEDGEはMEDIAEDGE株式会社の登録商標です。
8. HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
9. Microsoft、Windowsは米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。



■健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニターおよびテレビ画面に表示される強い光の刺激や点滅によって、体に異常を感じる方がいます。本製品の運用にあたっては、十分留意してください。



電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工したりしないでください。

電源コードを抜くときは、プラグ部分を持ってください。電源コードが痛んだら、使用を中止し、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまで交換をご依頼ください。



分解しない

禁止

ケースのフタを開けたり改造したりすると、感電や火災の原因となります。内部の点検、修理はお買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご依頼ください。



ほこりや湿気の多い場所では使用しない

禁止

ほこりや湿気は、ショートの原因となり、発熱、火災や感電の原因となります。



内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。



雷が鳴りだしたら使わない

禁止

本体やプラグには触れないでください。感電の原因となります。



ぬれた手で触らない

禁止

ぬれた手で電源ケーブルのプラグや、コネクタに触れないでください。感電の原因となります。



直射日光の当たる場所に置かない

禁止

日光のあたる場所や熱器具のそばに置かないでください。火災や製品の故障の原因となります。



煙が出たらプラグを抜く

強制

本製品を使用中に万が一、煙が出る、異臭がするなどの問題が発生した場合には、直ちに使用を中止し、コンセントからプラグを抜いてください。煙が出る、異臭がするなどの異常状態で使用を継続すると、火災や製品の故障の原因となります。異常が発生したら、本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、煙が消えたのを確認してから、お買い上げの販売店もしくは当社カスタマーサポートまでご連絡ください。



破損した状態で使用しない

強制

本製品を落としたり、カバーを破損したりした場合、そのまま使用しないでください。火災や製品の故障の原因となります。製品が破損した場合は、本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは当社カスタマーサポートまでご連絡ください。



注意

設置について

- ✓ 不安定な台の上や傾いたところに置かないでください。落下するおそれがあり、けがをしたり、製品が故障したりする原因となります。
- ✓ 電源コードやケーブル類は整理して配置してください。足を引っかけると、けがや製品の故障の原因となります。
- ✓ 風通しの悪い場所や布などで覆った状態で使用しないでください。通風口がふさがれると内部に熱がこもって、火災や製品の故障の原因となります。

お手入れについて

- ✓ お手入れの際には、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。コンセントに接続したままだと、感電や故障の原因となります。
- ✓ お手入れの際、シンナーなどの揮発性の溶剤は使用しないでください。
- ✓ 長期間使用しないときは、電源ケーブルをコンセントから外してください。

個人情報の取り扱いについて

当社では、お客様の個人情報は原則として下記の目的以外では使用いたしません。

1. ご利用の製品のサポートの実施
2. 当社製品の使用状況調査、製品改良、製品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施
- ※ 調査結果につきましては、お客様の個人情報を含まない形で当社のビジネスパートナーに参考資料として提供することがあります。
3. 銀行口座やクレジットカードの正当性、有効性の確認
4. ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内等の情報提供
5. 懸賞企画等で当選された方への賞品の発送

事前にお客様のご了承を得た上で、上記以外の目的で使用させていただく場合があります。

当社ではお客様の個人情報を適切に管理し、特段の事情が無い限りお客様の承諾無く第三者に開示・提供することはありません。

※お客様の個人情報の取り扱いに関するお問い合わせ、ご意見がございましたら、<http://www.mediaedge.co.jp>よりご連絡ください。

保証規定

- 本機の保証期間は1年間です。
- 保証をお受けいただくには、ユーザー登録を行っていただく必要があります。
- ユーザー登録を行っていただくと、保証書がダウンロードできます。
- 保証期間の開始日は、当社出荷日を起点に翌々月1日より1年間となります。
- 取扱説明書に記載の注意事項や使用方法に反した使用方法による故障に関しては保証できません。
- 本保証規定は日本国内においてのみ有効です。本機を日本国以外で使用した際の故障に関しては保証できません。

ユーザー登録方法



パソコンやスマートフォンなどから登録サイトにアクセスしていただき、製品のシリアルナンバーを入力してください。

<http://www.mediaedge.co.jp/enq/u-reg.html>

シリアルナンバーは、製品またはパッケージに貼付されています。VPから始まる10桁のシリアルナンバーを入力してください。

サンプル：



* VP12ZZ9999 *

上記サンプルの場合「VP12ZZ9999」が入力いただくシリアルナンバーになります。

目次

1. はじめに	3
2. 接続	5
3. 基本情報	7
4. ソース設定	8
5. エンコーダー設定	9
6. レコーダー設定	10
7. ストリーミング設定	12
8. OSD設定	15
9. システム設定	15

1-1.同梱物をご確認ください

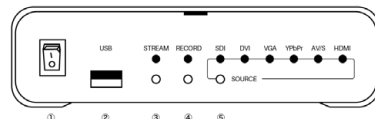
本製品には、以下の同梱物が含まれています。
パッケージを開梱したら、同梱物が全て入っていることをご確認ください。

SC6C0N1 AIO 本体 × 1
ステレオミニジャック→ステレオ RCA コネクタ変換ケーブル× 1
AC アダプター × 1

1-2.外観説明

本製品には次のようなスイッチ、ボタン、コネクタがあります。

前面



1. 電源スイッチ

本機の電源を入れたり切ったりするためのスイッチです。

2. USB2.0 コネクタ

動画の保存を行うための USB ストレージを接続するコネクタです。

3. 配信ボタン

モニター中の映像の配信を開始することができるボタンです。配信中はボタンが点灯します。

1-2.外観説明

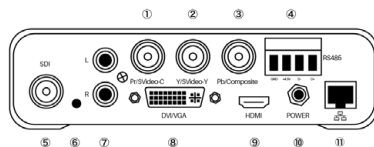
4. 録画ボタン

モニター中の映像を動画ファイルとして保存することができます。録画の開始と停止を行うことができるボタンです。録画中はボタンが点灯します。

5. 入力ソース切り替えボタン

入力ソースを切り替えるボタンです。選択中の映像ソースのランプが点灯します。信号が検出できないなど異常な状態の場合には赤く点灯します。

後面



1. Pr/Video-C 入力端子

コンポーネント入力時に Pr を接続、S ビデオ入力時に C を接続する端子です。

2. Y/Video-Y 入力端子

コンポーネント入力時に Y を接続、S ビデオ入力時に Y を接続する端子です。

3. Pb/Composite 入力端子

コンポーネント入力時に Pb を接続、コンポジットビデオ入力に使用する端子です。

4. RS485 コネクタ

RS485 での制御に使用します。

5. SDI 入力端子

SDI 信号を入力するのに使用する端子です。

6. ステレオミニジャックオーディオ入力端子

ステレオミニジャックタイプのケーブルを接続してオーディオを入力するための端子です。変換ケーブルを使用して RCA ケーブルを接続することもできます。

7. ステレオ RCA オーディオ入力端子

RCA タイプのケーブルを接続してオーディオを入力するための端子です。

8. DVI/ アナログ RGB 入力端子

DVI またはアナログ RGB を入力するための端子です。DVI-D、DVI-I または DVI-A に対応したケーブルをお使いください。

9. HDMI 入力端子

HDMI 信号を入力するための端子です。

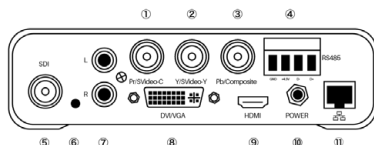
10. DC ジャック

AC アダプタを接続します。

11. イーサネットコネクタ

ネットワークケーブルを接続します。

2-1.ケーブルの接続



ネットワークケーブルの接続

ネットワークケーブルは上記本機背面図 11 番のイーサネットコネクタに接続します。

AC アダプタの接続

上記背面図 10 番に付属の AC アダプタを接続してください。
マウスとキーボードの接続

2-2.ネットワーク経由で設定を行う

本機の設定を行うには、Windows / MAC / Linux 上でモダンブラウザ (Firefox、Chrome、Safari、Microsoft Edge など) を動作させることができるパソコンと DHCP サーバーが動作しているネットワーク環境が必要です。

設定用の Web コンソールにアクセスして設定を行うため、本機の IP アドレスを知る必要があります。

アクセス方法： [http:// IP アドレス](http://IPアドレス)

本機の IP アドレスが 192.168.2.4 の場合： <http://192.168.2.4>

2-2.ネットワーク経由で設定を行う

ログイン ID とパスワード

初期ユーザー名： admin

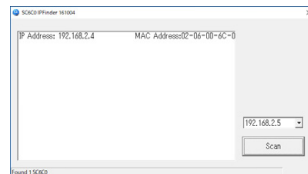
パスワード： 000000

IP アドレスの確認方法

Windows 環境の場合

Windows 環境では、SC60C0 IPFinder というユーティリティをダウンロードして本機を検索するのがもっとも簡単です。

MEDIAEDGE の Web サイトからユーティリティをダウンロードし、解凍して実行することで、同一ネットワークに接続されている本機の IP アドレスがリストで表示されます。



ダウンロードは以下ページから行ってください。

<https://www.mediaedge.co.jp/support/download/>

2-2.ネットワーク経由で設定を行う

MAC 環境の場合

MAC 環境むけのユーティリティは用意されていませんが、LanScan などネットワークに接続されている IP アドレスを一覧表示してくれるアプリケーションをご活用いただくか、nmap などをお試しください。

nmap を使用して 192.168.2.x ネットワークに接続されている機器のリストを表示する例：

```
Mac:~ meuser$ sudo nmap -sn 192.168.2.0/24

Starting Nmap 7.60 ( https://nmap.org ) at 2018-03-07 14:25 JST
Nmap scan report for xxxxx.xx (192.168.2.1)
Host is up (0.00067s latency).
MAC Address: aa:aa:aa:aa:aa:aa (xxx xxxxxxxxx)
Nmap scan report for 192.168.2.3
Host is up (0.00080s latency).
MAC Address: xx:xx:xx:xx:xx:xx (Unknown)
Nmap scan report for 192.168.2.6
Host is up.
Nmap done: 256 IP addresses (3 hosts up) scanned in 2.01 seconds
Mac:~ meuser$
```

上記の例では xx:xx:xx:xx:xx:xx の MAC アドレスが本機の MAC アドレスとなっていますので、192.168.2.3 が本機へアクセスするための IP アドレスであるということを確認することができます。

nmap は MAC OS には標準では含まれておりませんので、別途インストールする必要があります。

Linux 環境の場合

MAC の場合と同じように nmap などを利用することで、本機の IP アドレスを確認することができます。

```
me-user@me-ubuntu:~$ sudo nmap -sn 192.168.2.0/24

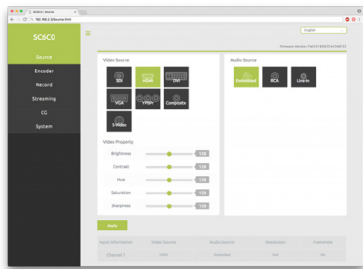
Starting Nmap 7.01 ( https://nmap.org ) at 2018-03-07 14:33 JST
Nmap scan report for xxxxx.xx (192.168.2.1)
Host is up (0.00085s latency).
MAC Address: aa:aa:aa:aa:aa:aa (xxx xxxxxxxxx)
Nmap scan report for 192.168.2.3
Host is up (0.0010s latency).
MAC Address: xx:xx:xx:xx:xx:xx (Unknown)
Nmap scan report for 192.168.2.7
Host is up.
Nmap done: 256 IP addresses (4 hosts up) scanned in 3.73 seconds
me-user@me-ubuntu:~$
```

上記の例では xx:xx:xx:xx:xx:xx の MAC アドレスが本機の MAC アドレスとなっていますので、192.168.2.3 が本機へアクセスするための IP アドレスであるということを確認することができます。

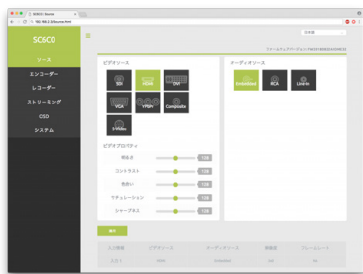
上記は ubuntu 16.04 での実行結果です。nmap は ubuntu 16.04 には標準では含まれておりませんので、別途インストールする必要があります。

3-1.言語の設定

本体で直接操作している場合や、お使いの OS、ブラウザによって多少の見た目の差異はありますが、ログイン後には以下のような画面が表示されます。



画面右上の「English」を「日本語」に変更すると、メニュー表示を日本語に変更することができます。また、現在お使いのファームウェアのバージョンもこちらに表示されます。



3-2.基本構成



①のエリア

①のエリアは、設定を行いたい機能を選択する部分になります。この項目を選択することで、②のエリアの内容が変化します。

②のエリア

②のエリアは、①のエリアで選択した各機能の詳細設定を行うエリアです。

③のエリア

③のエリアの横三本線をクリックすると、①のエリアが隠れます。もう一度クリックすると表示されます。

3-3.設定の確定方法

各画面にはそれぞれ適用ボタンがあります。画面の移行が発生する前に必ず適用ボタンをクリックしてください。適用ボタンをクリックせずに画面移行を行なった場合、設定内容が破棄されます。

4-1. ソース設定

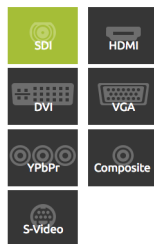
ソース設定画面は、2 種類のエリアで構成されています。



設定を行うエリア

設定情報を表示するエリア

4-2. 入力ソースの選択



使用したい入力ソースを選択すると選択中のソースが緑色に変化します。

4-2. 入力ソースの選択

画質調整 (Video Property)

選択した映像ソースの画質の調整を行うことができます。

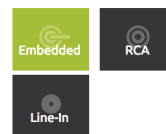
ビデオプロパティ



オーディオソース (Audio Source)

重畳音声 (Embedded)、ライン入力 (RCA/Line In)) からエンコード時に使用するオーディオソースを選択します。

Audio Source



5-1.エンコーダーの設定画面と項目

本機では Main Encoder と Sub Encoder の2種類の設定をあらかじめ行うておくことが可能です。

Sub Encoder ではオーディオビットレートのみ設定を行うことができません。(Main Encoder と同じビットレートが使用されます。)



解像度

エンコードする際の解像度を設定します。

入力ソースと同じを選択すると、入力ソースと同じサイズでエンコードを行います。

✓ 入力ソースと同じ
1920 * 1080
1280 * 720
960 * 540
720 * 576
720 * 480
640 * 480
320 * 240
160 * 128

フレームレート

エンコードする際のフレームレートを設定します。

入力ソースと同じを選択すると、入力ソースと同じフレームレートでエンコードを行います。

✓ 入力ソースと同じ
60.00
50.00
30.00
25.00
20.00
15.00
10.00
5.00
1.00

プロファイル

エンコード時のプロファイルを設定します。

✓ ハイ
メイン
ベースライン

ビデオビットレート

エンコード時のビデオビットレートを設定します。

16 M
12 M
10 M
8 M
6 M
4 M
✓ 3 M
2.5 M
2 M
1.5 M
1 M
512 K
256 K

オーディオビットレート

エンコード時のオーディオビットレートを設定します。Main Encoder のみ設定できます。Sub Encoder は Main Encoder と同じオーディオビットレートになります。

384 K
256 K
✓ 128 K
64 K
32 K

GOP

H.264 の GOP (Group of Picture) の設定します。

180
160
140
120
100
✓ 60
50
30
25
20
15
10
5
3
2
1

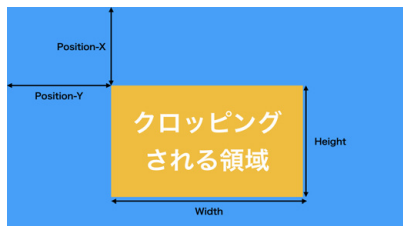
5-1.エンコーダーの設定画面と項目

クロッピング

クロッピング

クロップの位置-X	<input type="text" value="0"/>	クロップの位置-Y	<input type="text" value="0"/>
クロップの幅	<input type="text" value="0"/>	クロップの高さ	<input type="text" value="0"/>

横方向の位置 -X (Position-X) と縦方向の位置 -Y (Position-Y) を起点として、幅 (Width) と高さ (Height) の指定サイズで映像を切り出し、エンコードします。



6-1.録画機能の設定画面と項目

録画機能を使用すると、前面の USB2.0 に接続した USB メモリなどの記録媒体に mp4 形式で映像を保存することができます。

接続する記録媒体として、バスパワー駆動の USB2.0 対応 HDD や SSD は使用しないでください。必要な電力が不足するなどの原因で、記録媒体が認識されなかったり、録画に失敗したりすることがあります。必ずセルフパワー駆動タイプをお使いください。

メインレコーダー

録画の設定を行うエリアです。

メインレコーダー

ソースとするエンコーダー

タイムシンクエンコーダー

ファイル名

RECORD

ファイルサイズ

ループレコーディング

NO

録画ファイル

RECORD_0001.mp4

録画開始 録画停止 適用

ディスク情報

USB2.0 に接続中の記録媒体の情報を表示するエリアです。

ディスク情報

ベンダー

Disk

プロダクト

USB 3.0

容量

15,360,000 B

USBフォーマット

FAT32

ディスク削除

USB ストレージ

ディスクの内容を表示するエリアです。ファイル名をクリックすると、ダウンロードすることができます。

USB ストレージ

Index of /storage/usbstorage/

Name	LastModified	Size	Type
00000000	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000001	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000002	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000003	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000004	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000005	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000006	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000007	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000008	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000009	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000000A	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000000B	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000000C	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000000D	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000000E	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000000F	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000010	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000011	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000012	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000013	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000014	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000015	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000016	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000017	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000018	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000019	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000001A	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000001B	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000001C	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000001D	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000001E	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000001F	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000020	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000021	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000022	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000023	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000024	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000025	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000026	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000027	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000028	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000029	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000002A	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000002B	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000002C	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000002D	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000002E	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000002F	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000030	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000031	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000032	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000033	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000034	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000035	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000036	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000037	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000038	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000039	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000003A	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000003B	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000003C	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000003D	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000003E	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000003F	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000040	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000041	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000042	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000043	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000044	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000045	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000046	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000047	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000048	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000049	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000004A	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000004B	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000004C	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000004D	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000004E	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000004F	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000050	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000051	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000052	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000053	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000054	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000055	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000056	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000057	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000058	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000059	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000005A	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000005B	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000005C	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000005D	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000005E	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000005F	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000060	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000061	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000062	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000063	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000064	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000065	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000066	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000067	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000068	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000069	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000006A	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000006B	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000006C	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000006D	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000006E	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000006F	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000070	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000071	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000072	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000073	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000074	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000075	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000076	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000077	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000078	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000079	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000007A	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000007B	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000007C	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000007D	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000007E	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000007F	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000080	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000081	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000082	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000083	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000084	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000085	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000086	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000087	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000088	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000089	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000008A	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000008B	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000008C	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000008D	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000008E	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000008F	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000090	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000091	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000092	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000093	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000094	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000095	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000096	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000097	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000098	2017-01-01 00:00	4 K	File
00000099	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000009A	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000009B	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000009C	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000009D	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000009E	2017-01-01 00:00	4 K	File
0000009F	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000A0	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000A1	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000A2	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000A3	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000A4	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000A5	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000A6	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000A7	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000A8	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000A9	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000AA	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000AB	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000AC	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000AD	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000AE	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000AF	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000B0	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000B1	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000B2	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000B3	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000B4	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000B5	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000B6	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000B7	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000B8	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000B9	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000BA	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000BB	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000BC	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000BD	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000BE	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000BF	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000C0	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000C1	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000C2	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000C3	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000C4	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000C5	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000C6	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000C7	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000C8	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000C9	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000CA	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000CB	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000CC	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000CD	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000CE	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000CF	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000D0	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000D1	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000D2	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000D3	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000D4	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000D5	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000D6	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000D7	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000D8	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000D9	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000DA	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000DB	2017-01-01 00:00	4 K	File
000000DC	2017-		

6-2.設定画面と項目



メインレコーダー

ソースとするエンコーダー
メインエンコーダー

ファイル名
RECORD

ファイルサイズ
4G

ループレコーディング:
NO

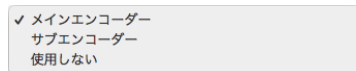
録画ファイル
RECORD_0001.mp4

録画開始 録画停止 適用

ソースとするエンコーダー

録画時に使用するストリームを出力するエンコーダーを選びます。ここでエンコーダーを指定しておくと、前面の録画ボタンを押した際に録画を開始したり停止したりすることができます。使用しないを選択すると、録画を行いません。

録画時のエンコードパラメーターは、エンコーダー設定で行います。



✓ メインエンコーダー
サブエンコーダー
使用しない

ファイル名

録画時のファイル名を指定します。実際に録画されるファイルは、ここで指定した文字列 + “_xxxx.mp4” (xxxx は連番) になります。

ファイルサイズ

ファイルを録画する際のファイルサイズを指定します。Loop Recordingの設定を指定していない場合、指定したファイルサイズに達した時点で、連番の次のファイルを作成し、録画を継続します。

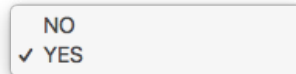


200M
500M
1G
2G
✓ 4G

4GB を超えるファイルは、本機では作成できません。

ループ録画

ファイルサイズで指定したサイズを上限に、ループで録画を継続します。指定したファイルサイズに達した時点で、次のファイルを作成し、ディスク容量がいっぱいになった時点で、最も古いファイルを削除して録画を継続します。



NO
✓ YES

6-3.ディスク情報

前面の USB2.0 に接続した記録媒体の情報を表示します。

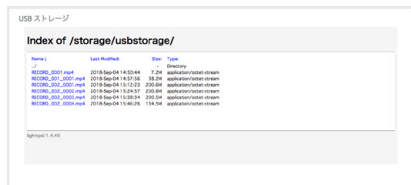


ディスク初期化 をクリックすると、接続している記録媒体を FAT32 形式でフォーマットします。

USB ドライブは、マスターブートレコード 方式でフォーマットを行なってください。GTP 方式でフォーマットされているものは使用できません。

6-4.ディスクコンテンツ

前面の USB2.0 に接続した記録媒体の内容を表示します。青文字で表示されているものは、クリックすることでダウンロードして保存することができます。



※録画中はダウンロードできません。

7-1.ストリーミング機能の設定画面と項目

ストリーミング機能は、映像をネットワーク経由で YouTube や FaceBook Live などのライブ映像配信サービスに映像を配信したり、RTSP でネットワークに映像を配信したりすることができる機能です。本機では、Stream Type を変更することで、設定画面に必要な項目が表示されるようになります。

RTSP 配信の場合



TS 配信の場合



HLS 配信の場合



RTMP 配信の場合

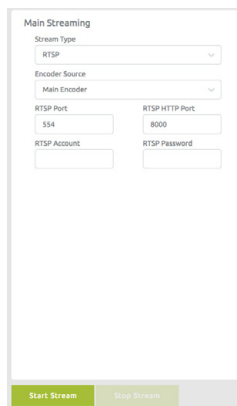


SRT 配信の場合



7-3.RTSP配信

ストリームタイプ (Stream Type) を RTSP に変更すると次のような設定項目が表示されます。



The screenshot shows a configuration window titled "Main Streaming". It contains the following fields:

- Stream Type: A dropdown menu with "RTSP" selected.
- Encoder Source: A dropdown menu.
- Main Encoder: A dropdown menu.
- RTSP Port: A text input field containing "554".
- RTSP HTTP Port: A text input field containing "8000".
- RTSP Account: A text input field.
- RTSP Password: A text input field.

At the bottom of the window, there are two buttons: "Start Stream" (highlighted in green) and "Stop Stream".

Encoder Source：エンコードに使用するソースを指定します。選択したエンコーダーの設定で配信を行います。

RTSP Port：RTSP で使用するポート番号を指定します。

RTSP HTTP ポート：RTSP HTTP で使用するポート番号を指定します。

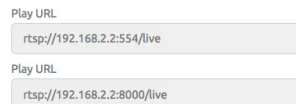
RTSP アカウント：ストリームにアクセスする際のアカウント名を指定します。

RTSP パスワード：ストリームにアクセスする際のパスワードを指定します。

Start Stream をクリックすると、配信を開始します。停止する場合は Stop Stream をクリックします。

フロント部③の配信ボタンでも開始と停止を行えます。

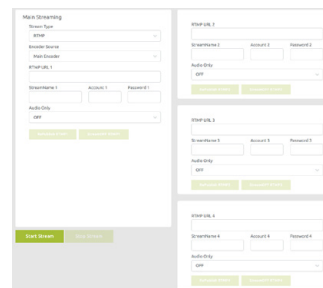
配信を開始すると、再生用の URL が表示されます。



The screenshot shows two "Play URL" input fields. The first field contains the text "rtsp://192.168.2.2:554/live". The second field contains the text "rtsp://192.168.2.2:8000/live".

7-4.RTMP配信

ストリームタイプを RTMP に変更すると次のような設定項目が表示されます。



The screenshot shows a configuration window titled "Main Streaming" with multiple tabs for different stream types. The "RTMP URL 1" tab is active, showing the following fields:

- Stream Name: A text input field.
- Encoder Source: A dropdown menu.
- Main Encoder: A dropdown menu.
- RTMP URL 1: A text input field.
- StreamName 1: A text input field.
- Account 1: A text input field.
- Password 1: A text input field.
- Audio Only: A checkbox.

At the bottom of the window, there are two buttons: "Start Stream" (highlighted in green) and "Stop Stream".

Encoder Source：エンコードに使用するソースを指定します。選択したエンコーダーの設定で配信を行います。

RTMP URL1：配信先のエンドポイント情報（一般的にはサーバーアドレスとサービスの指定するアドレス）を入力します。

StreamName1：ストリーム名を入力します。

7-4.RTMP配信

Account 1：配信サーバー側でアカウントを設定している場合、アカウント名を入力してください。

Password 1：配信サーバー側でアカウントを設定している場合、パスワードを入力してください。

一般的に配信先サーバーの情報は

rtmp://[サーバーのアドレス]/[サービスの指定するアドレス]/[ストリーム名]

という構成で指定を行います。例えば YouTube であれば

RTMP URL1 に rtmp://a.rtmp.youtube.com/live2/

StreamName 1 に [ストリーム名 / キーに表示される内容] となります。

Start Stream をクリックすると、配信を開始します。停止する場合は Stop Stream をクリックします。フロント部③の配信ボタンでも開始と停止を行います。

複数箇所への配信について

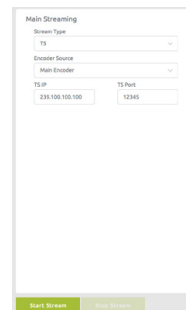
本機では RTMP 配信の場合、最大 4 箇所まで指定することが可能ですが、配信能力の制限によって最大ビットレートが変化します。

配信 1 本だけの場合 最大 10Mbps まで

配信 4 本の場合 最大 1Mbps まで

7-5.TS配信

ストリームタイプを TS に変更すると次のような設定項目が表示されます。



The image shows a 'Main Streaming' configuration window. It has a 'Stream Type' dropdown menu set to 'TS'. Below it is a 'Encoder Source' dropdown menu set to 'Main Encoder'. At the bottom, there are two input fields: 'TS IP' with the value '239.100.100.100' and 'TS Port' with the value '12345'. At the very bottom of the window are two buttons: 'Start Stream' and 'Stop Stream'.

TS 配信時には、配信先とポート番号のアドレスを入力します。

ユニキャストで配信する場合の例（配信先が 192.168.2.6 の場合）：
udp://192.168.2.6:49152

マルチキャストで配信する場合の例：
udp://224.0.1.1:65534

アドレスやポートは使用する環境で重複しないように設定する必要があります。

Start Stream をクリックすると、配信を開始します。停止する場合は Stop Stream をクリックします。フロント部③の配信ボタンでも開始と停止を行います。

配信を開始すると、再生用の URL が表示されます。

Play URL

udp://@239.100.100.100:12345

8-1.OSD設定画面

SC6C0N1 AIO には、簡易的な OSD 表示機能が用意されています。



The OSD Setting screen includes the following fields:

- ON/OFF**: A dropdown menu currently set to "オフ" (Off).
- テキスト**: A text input field containing the format "%H%M%S".
- 位置-X** and **位置-Y**: Two numeric input fields, both set to "200".
- 背景色**: A dropdown menu currently set to "ない" (None).
- テキストサイズ**: A numeric input field set to "10".
- 適用**: A green button at the bottom to apply the settings.

ON/OFF : OSD 表示の ON/OFF を切り替えます。

テキスト : 表示するテキストを入力します。半角で最大 16 文字まで入力できます。

%H:%M:%S

%H : 時間を 24 時間表記で表示します。

%M : 分を表示します。

%S : 秒を表示します。

位置 -X : テキストの横の位置を指定します。

位置 -Y : テキストの縦の位置を指定します。

背景色 : 背景色をなしから黒から選択することができます。

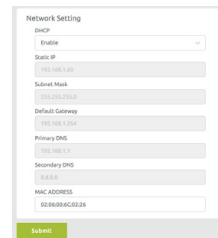
テキストサイズ : テキストのサイズを指定します。

9-1.システムについて

ここでは、システムに関する様々な設定を行うことができます。

ネットワーク設定 (Network Setting)

ネットワークに関する設定を行います。



The Network Setting screen includes the following fields:

- DHCP**: A dropdown menu currently set to "有効" (Enabled).
- Static IP**: A numeric input field set to "192.168.1.100".
- Subnet Mask**: A numeric input field set to "255.255.255.0".
- Default Gateway**: A numeric input field set to "192.168.1.254".
- Primary DNS**: A numeric input field set to "192.168.1.1".
- Secondary DNS**: A numeric input field set to "0.0.0.0".
- MAC ADDRESS**: A text input field containing "00:0A:0A:C0:2A".
- 設定**: A green button at the bottom to apply the settings.

DHCP がデフォルトで有効になっています。特定の IP アドレスで運用する場合は、無効に設定することで、固定 IP 以下の項目が設定できるようになります。

アカウントとパスワード

Web コンソールにログインするためのアカウントとパスワードを変更する場合に使用します。



The Account and Password Setting screen includes the following fields:

- 新しいアカウント**: A text input field.
- 新しいパスワード**: A text input field.
- 設定**: A green button at the bottom to apply the settings.

9-1.システムについて

日付時刻設定 (Time Setting)

本機では、NTP にアクセスすることで日付と時刻を自動的に設定します。

Time Setting

NTP

Date

Time

NTP に入力されている項目を削除すると、手動で日付と時刻が設定可能になります。

ファームウェア更新 (Firmware Update)

ファームウェアを更新する際に使用します。

Firmware Update

File Path

ファームウェア更新を行う場合は、必ず安定したネットワーク環境に接続して行ってください。また、更新中に電源を切ったり、AC アダプターを抜いたりするようなことは絶対にしないでください。ファームウェア更新に失敗した場合、メーカーでの有償修理が必要となることがあります。

アカウント変更 (Account Check)

ユーザー名やパスワードを変更する際に使用します。

Account Setup

Original Account

Original Password

現在使用しているユーザー名とパスワードを入力すると、変更画面が表示されます。

出荷時ユーザー名： admin
出荷時パスワード： 000000

Account Setup

New Account

New Password

New Password Confirm

システム管理

System Related

9-1.システムについて

デフォルトに戻す (Restore to Default)

機器の設定を全てデフォルトに戻します。

再起動 (System Reboot)

再起動を実行します。



MEDIAEDGE

メディアエッジ株式会社
<http://www.mediaedge.co.jp>

- 神戸本社 〒651-0083 神戸市中央区浜辺通5-1-14 神戸商工貿易センタービル 23F TEL:078-265-1551 FAX:078-265-1550
- 東京本部 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3-2-18 海老屋ビル 7F TEL:03-3517-1655 FAX:03-3517-1657
- e-mail:info-mec@mediaedge.co.jp



mediaedge.co.jp